

# 木彫り熊に触れる

八雲町 | 木彫り熊資料館

**北** 海道土産の定番商品として一時代を築き、昨今にわかにブームが再燃しつつある木彫り熊。その原点は八雲町にあります。

今から100年ほど前の八雲町には、尾張徳川家の第19代当主、徳川義親公が3代目農場主を務める農場があり、多くの農民が働いていましたが、生活は厳しいものでした。そんな農民の姿を目にしていた義親公は、ヨーロッパ旅行中のスイスで、農民美術として作られていた木彫り熊と出会い、日本に持ち帰りました。農民たちが農作業をできない冬の間に木彫り熊を作って売り、収入を増やせたらと考えたのです。

そうして始まった農民による木彫り熊の制作。大正13年(1924年)には町内で農民美術の品評会が開かれ、北海道内外から千点以上の作品が集まりました。その中に、酪農家の伊藤政雄による第一号の木彫り熊もあり、義親公がスイスから持ち帰った木彫り熊と共に、木彫り熊資料館に展示されています。

そんな発祥の歴史や、彫り方、表情、仕草などの作風が異なる個性豊かな木彫り熊を一堂に見られるのが木彫り熊資料館です。一度は途切れそうになった伝統工芸ですが、現在も町民講座や企画展などのイベントを通して、技術の継承や発信が続けられています。



data  
八雲町郷土資料館・  
木彫り熊資料館  
八雲町末広町154番地  
TEL.0137-63-3131  
https://www.town.yakumo.lg.jp/  
soshiki/kyoudo/



## 9 厚沢部町国民健康保険病院

厚沢部町



住所 〒043-1113 檜山郡厚沢部町新町14番地1号 TEL 0139-64-3036 E-mail byouin@town.assabu.lg.jp



深く美しい森林、鮎跳ねる清流、田園の田舎町へ

厚沢部町は北海道南西部に位置する自然豊かな純農村地帯です。当院は町内唯一の医療機関で第1次医療としての診療はもとより救急告示、南檜山地域群輪番制病院として地域住民の健康保持に重要な役割を担っています。

医師総数 4人	病床数 69床	外来患者数(1日平均) 58人	入院患者数(1日平均) 15人
救急指定 1次救急	新規外来患者数(1ヵ月平均) 62人	救急外来患者数(1日平均) 0.1人	心肺停止状態搬送患者数(1年平均) 1人

診療科/色は募集中の科目です  
内科、外科、眼科



COLUMN.4

## かんたん北海道弁講座

※北海道以外の地域でも使われている場合があります。

【うるかす】－ 水に漬けてやわらかくする

例) 帰ったらお米研いで「うるかして」おいてくれる？

【ばくる】－ 交換する

例) 月曜日と水曜日のシフト、「ばくって」くれない？

【わや】－ 大変、めちゃくちゃ、手が付けられない

例) (子どもが散らかした部屋を見て)  
……もう、「わや」だ！



【(手袋を)はく】－ 身に付ける

例) こんな寒いなら手袋「はいて」くれば良かった！

【(ゴミを)なげる】－ 捨てる

例) テーブルの上のゴミ「なげ」といて～。

【したっけね】－ それじゃあね  
(別れ際のあいさつ)

例) じゃあ明日10時に駅前まで待ち合わせだからね、「したっけね～！」

【おっちゃんこ】－ 座ること。

主に子ども向けに使う

例) 今ご飯作るから、「おっちゃんこ」して待ってね。

【めんこい】－ かわいい

例) あら、これは「めんこい」赤ちゃんだね。

日常生活編